

令和 8 年度（2026 年度）千葉大学文学部人文学科

日本・ユーラシア文化コース
3 年次編入学試験 出題意図・解答例
(筆記試験)

1

出題意図

(1)

- 一、日本語のくずし字の解読能力を問う。
- 二、基本的な日本古典文学の知識を問う。
- 三、日本古典文学史に関する理解と興味関心の高さ、および文章表現能力を問う。

※問題文に掲出の影印は、国立国会図書館蔵『源氏物語』(江戸前期写)所蔵番号 WA21-26。

(2)

- 一、日本近現代文学史に関する基本的な知識を問う。
- 二、日本近現代文学史に関する体系的な知識、および、それを適切に言語化する表現力を問う。

解答例

(1)

- 一、いつれの御時にか女御更衣あまたさふらひ給けるなかにいとやむこ
となきゝはにはあらぬかすくれて時めき給ふ有けりはしめより我
はとおもひあかり給へる御かた／＼めさましき物におとしめそねみ給ふ
- 二、紫式部『源氏物語』
- 三、(解答例は公表しない)

(2)

- 一、田山花袋『蒲団』
- 二、作者自身の性欲を含む負の側面を大胆に描写する自己暴露が同時代において大きな反響を呼び、いわゆる自然主義文学の代表的作品として位置づけられてきた。また、同時代においては〈私小説〉という用語自体は存在しないものの、後の時代には〈私小説〉の先駆的作品と見なされることもあった。

令和 8 年度（2026 年度）千葉大学文学部人文学科

日本・ユーラシア文化コース
3 年次編入学試験 出題意図・解答例

2

出題意図

【設問 1】

日本語の品詞に関する基礎的な知識と、具体例に基づいて現象を説明する文章表現能力を問う。

【設問 2】

日本語の文法カテゴリに関する基礎的な知識と、具体例に基づいて現象を説明する文章表現能力を問う。

【設問 3】

日本語の音変化に関する基礎的な知識と、具体例に基づいて現象を説明する文章表現能力を問う。

解答例

【設問 1】

名詞の例としては「学生」「机」「犬」、形容動詞の例としては「静か」「新鮮」「きれい」などが挙げられる。これらの語は「だ」「です」といったコピュラを伴って述語となる点では同じだが、様々な形態・統語的差異があり、たとえば連体修飾の形式が異なる。名詞の場合、「学生の部屋」「机の色」「犬の名前」のように被修飾名詞との間に「の」が現れ、形容動詞の場合、「静かな部屋」「新鮮な色」「きれいな名前」のように「な」が現れる。

【設問 2】

アスペクトとは、動詞の表す事態の時間的展開に関わる文法概念である。「歩く」と「折れる」のアスペクト的意味の違いは、「歩いている」「折れている」のように、それぞれの動詞をテイル形にした際に明らかになる。「歩いている」は動作が進行中であることを表す一

方で、「折れている」は動作が終了した後の結果状態を表す。このことから、「歩く」は継続的な動作を表すアスペクト的意味を持っており、「折れる」は瞬間的な変化を表すアスペクト的意味を持っていることが分かる。

【設問3】

連濁の規則性に関しては、意味や語種に関するものなど様々なレベルのものが存在するが、音環境による規則について取り上げる。「干し（ホシ）＋柿（カキ）」は「干し柿（ホシガキ）」となる一方で、「合い（アイ）＋鍵（カギ）」は「合鍵（アイカギ）」であって「アイガギ」にはならない。「息（イキ）＋遣い（ツカイ）」は「息遣い（イキヅカイ）」となる一方で、「蝶（チョウ）＋番（ツガイ）」は「蝶番（チョウツガイ）」であって「チョウツガイ」にはならない。このように、後部要素に濁音が含まれる場合には、連濁が起こらないことが知られている。

令和 8 年度（2026 年度）千葉大学文学部人文学科

日本・ユーラシア文化コース
3 年次編入学試験 出題意図・解答例

3

出題意図

設問 1：英語の基本的な読解能力を問う。

設問 2：専門学修・研究を行うために必要な言語学的な理解力を問う。

設問 3：英語のやや高度の理解力と言語学的素養を問う。

解答例

設問 1：現実の状況によって紛れなく区分される単位がひとつ存在する。それは体そのものである。体は何か他の物に定常的に関連付けられてはいない。したがって、すべての言語が「体」を表す語をもつということが期待できるかもしれない。実際、これがかなり大きな言語のサンプルについて成立すると主張する研究者が何人もいるのである。

設問 2：「頭」、「胴」、「腕（手）」、「目」、「口」を表す語は基本的にどの言語にもあると考えられそうだが、例外もあり、すべての言語にあると主張することはできないと著者は考えている。

設問 3：指の関節と関節の間の部分ははっきりと区切られた部分であるのに、それを表す語は言語にはないということ。

令和 8 年度（2026 年度）千葉大学文学部人文学科

日本・ユーラシア文化コース
3 年次編入学試験 出題意図・解答例

4

出題意図

設問 1：英語の基本的な読解能力と、著者の論点を正確に理解し、論理的な文章に要約する能力を問う。

設問 2：専門学修・研究を行うために必要なユーラシア文化に関する英語の読解能力と論理的な文章に要約する能力を問う。

設問 3：ユーラシア文化に関する理解と関心の高さ、および文章表現能力を問う。

解答例

設問 1：西洋の集合的な想像において、草原は単調、希薄、孤独と関連づけられているが、実際は人が比較的多く住んでおり、草原は牧畜民と家畜の存在により、高度に人為化された環境であると述べている。

設問 2：牧畜、とくに遊牧は人間と動物の相互適応によって成り立つものである。遊牧民は動物のために移動し、動物は遊牧民の移動経路に適応する。移動には生態学的な要因だけでなく、動物の行動や人間の社会構造といった非生態的な要因も関連している。それゆえ、遊牧は人間による動物の支配という単純な関係ではなく、牧畜民と家畜の間の多層かつ永久的な相互作用からなる複雑なシステムとして理解されなければならない。

設問 3：（解答例は公表しない）

3 年次編入学試験 口述試験(面接)出題意図

コ ー ス	日本・ユーラシア文化コース
出 題 意 図	<p>専門分野における学修適性および研究遂行能力を評価するため、以下のような意図をもって出題する。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 千葉大学、文学部人文学科日本・ユーラシア文化コースへの志望理由および動機、並びにこれまでの学修経験との関連性を確認する。2. 本コースで取り組みたい研究に関する基礎的知識、関心、および理解力を確認する。3. 口述試験を通じ、論理的説明能力、課題理解力、およびコミュニケーション能力を確認する。